

## 平成19年度石狩市学校給食センター運営委員会会議録

開催日時：平成19年8月7日（火）

開催時間：15時00分から17時00分

会 場：市役所4階 402会議室

出席委員：東川、佐藤（高）、中村、  
井川、島田、阿部、穴田、  
大森、小林、南部

傍 聴 者：4名

### 会議次第

1. 教育長挨拶
2. 諮 問
3. 新委員紹介
4. 委員長挨拶
5. 議 事
  - (1) 浜益学校給食センターの廃止及び統合について
  - (2) 給食費の統一について
6. 報 告
  - ・平成18年度給食費徴収状況について
7. その他

### 開 会

- (センター長) 只今から平成19年度石狩市学校給食センター運営委員会を開会します。始めに教育長より挨拶がございます。
- (教 育 長) 教育長より挨拶
- (センター長) 次に教育長より諮問がございます。
- (教 育 長) それでは、諮問させていただきます。石狩市学校給食センター運営委員会委員長、島田義治様、石狩市教育委員会教育長、四宮克。浜益学校給食センターの廃止及び統合等について、諮問させていただきます。下記の項目について、石狩市学校給食センター条例第8条第2項の規定に基づき、諮問いたします。内容につきましては、浜益学校給食センターの廃止及び統合について、もう一つは、給食費の統一について、でございます。よろしく、ご審議いただきたいと思います。
- (センター長) 新委員紹介
- (委 員 長) 委員長挨拶

### 議 事

- (委 員 長) それでは、議事に移ります。事務局から説明をお願いします。

- (センター長) 資料1ページの浜益学校給食センターの廃止及び統合についてと資料2ページの給食費の統一について説明。
- (委員長) 始めに、1ページの浜益学校給食センターの廃止及び統合について何かご意見がありますか。
- (中村委員) 昨年の運営委員会でも、この話があったので、統合の主旨は、理解出来ますが、財政的な面から廃止するのではないかと推測しています。ただ、厚田地区から浜益地区まで給食を運搬するとなると、特に、冬期間の吹雪が凄いのので、子供達にきちんと給食を提供出来るのか心配ですが、その対応はどのようになりますか。
- (委員長) その他、同様の質問はありませんか。
- (大森委員) その前に、昨年12月に開かれた運営委員会の議事録が送られて来ていないと思います。
- (センター長) 送付していなければ、後日、送付させていただきます。
- (大森委員) 前回の運営委員会では、統合について議論するには、現場を知る必要があるので浜益学校給食センターを見てみたいと話したところ、検討しますと言っていましたが、どうなりましたか。私が、昨年、浜益学校給食センターを見学した時、非常に古いものだったと思いましたが、栄養士さん達が頑張っていましたので、冬期間、地域経済、地域活性、雇用問題等を考えた時に浜益に給食センターを何らかの形で残せないものでしょうか。また、浜益支所庁舎は、非常に立派ですが、上手く活用されていない状況だと思いますので、そう言ったところに視点を変えて、給食センターを残せないものでしょうか。統合が市の財政再建計画の中に入っているのは、間違いないですが、財政面だけで、そうするのは、どうかと思います。
- (阿部委員) 調理場で採用しているウエットシステムとは、どんなものですか。それと職員はどうなるのでしょうか。
- (大森委員) 浜益区や厚田区の市民には、この事は、どのように伝えられているのかと市民の合意形成がどのようにされているのか心配です。今、市民参加が言われている中で大きな問題だと思います。
- (佐藤委員) もし、統合した場合、厚田学校給食センターから浜益区への給食配送時間と距離は、どれ位ですか。
- (委員長) それでは、以上について、説明願います。
- (センター長) 始めにウエットシステムですが、簡単に申しますと調理場の床面が濡れた状態を言います。現在は、床面が乾いた状態のドライシステムが主流になっています。具体的には、後ほど栄養士が説明いたします。次に職員につきましては、1名の方が、厚田学校給食センターに移り、残り2名の方は年度末で退職することになっております。次に地元説明会は、9月～10月に掛けて開催を予定しております。次に地域経済につつま

しては、食材購入時に地元の業者にも入札等に参加していただき、結果として購入するかどうかは、分かりませんが、その道を閉ざすものでは有りません。次に配送時間等につきましては、厚田学校給食センターから浜益区までが約30kmで約40分、厚田学校給食センターから聚富までが約20kmで約30分となっております。配送方法は、コンテナに食缶、バット缶等を入れて行きますので、保温状態は良好に保たれるものと考えております。なお、冬期間の吹雪等につきましては、厚田から浜益の間は、意外と少なく、逆に厚田から聚富、望来間の方が吹雪くと聞いております。ただ、悪天候等による道路の通行止めに備え各学校に非常食を完備して対応したいと考えております。

(栄養士) ウェットシステムは、旧式の給食センターに多く、いつも床面が濡れた状態になっています。食中毒の原因として水分が菌の繁殖につながることが多く、水跳ねが食材にかかって二次感染の恐れもありますので、現在の給食センターの殆どは、床面が乾いた状態のドライシステムを採用しています。

(委員長) 現在の浜益学校給食センターの職員については、どうですか。

(浜益センター長) 囑託で、3名雇用しておりますが、1名が厚田学校給食センターに移り、1名が今年度で退職する予定です。もう1名は、既に退職して違う会社に就職しましたので、現在、別の方を雇用しておりますが同じく今年度で退職する予定です。

(委員長) 地元説明会は、9月から10月に掛けて厚田区、浜益区、別々に実施するのですね。

(センター長) その予定です。

(委員長) 給食の配送に係わって、冬期間の吹雪は、聚富、望来方面と比べて浜益方面の方が、比較的良いのではないかとのですが、井川委員は、どう思いますか。

(井川委員) 冬場、浜益の方に行ったことは、余りありませんので、状況は分かりませんが、厚田から望来方面に行くより、浜益方面の方が、まだ、若干、吹雪は弱いのではないかなと思います。

(委員長) 今まで、給食の配送出来なかったことは、有るのですか。

(厚田センター長) 昭和60年代の頃、吹雪で配送出来ない日が、年に一度あるかないかでした。平成15年以降、集団下校をするケースはありましたが、道路事情も良くなったためか、配送出来なかった事は、一度もありません。

(浜益センター長) 浜益地区も同様に最近では、配送出来なかった事はありません。

(委員長) 地域の活性化に係わって雇用問題も含まれると思いますが、職員は浜益地区に住んでいる方ですか。

(浜益センター長) そうです。

(委員長) 食材に係わっての入札は、当然、公平に行われますよね。

- ( 浜益センター長 ) 現在、生鮮食品で地元業者が2社入っており、1社当たり月平均5万円位になっております。今後、2社も参加して見積り合せ等を行うこととなります。
- ( 委 員 長 ) 地産地消の係わりや食育の関係からも市内で採れたものを給食の食材にすることになりますね。
- ( 栄 養 士 ) そうです。
- ( 委 員 長 ) 他に何かありますか。
- ( 大 森 委 員 ) 浜益学校給食センター見学の件と第2学校給食センターのウエットシステムをドライシステムに出来ないものなののでしょうか。
- ( 委 員 長 ) 浜益学校給食センターの見学は、予定されているのですか。
- ( 生涯学習部長 ) 浜益までは、往復約3時間程度掛かりますので、再度、皆様のご都合をお聞きして、希望されるのであれば実施したいと考えております。
- ( 委 員 長 ) 皆さんどうですか。希望が多ければ実施しますと言う事ですが、どうも積極的な雰囲気ではないようですので、全体としては実施しませんが、今後、希望があれば、数人でも実施することにします。
- ( 大 森 委 員 ) 第2学校給食センターのウエットシステムの件は、どのようになっていますか。
- ( 栄 養 士 ) 浜益学校給食センターも第2学校給食センターもウエットシステムですが、浜益の方は、昭和41年建設ですので、機械も老朽化して第2と比べると、かなり古い状態です。第2も新しくはないですが、9年前に床面の改装や機械類の入れ替えを行い、3年前からは、保健所や大学の指導がありましてウエットシステムの中で、使っている自分達が工夫してドライシステムのような使い方をするような努力をしている最中です。浜益のセンターは全体的に建物等の老朽化が進んでいますので、第2のように工夫してやって行くのは、無理な状態です。
- ( 委 員 長 ) 浜益学校給食センター存続は、衛生面や予算面でも、大変厳しい状況で廃止統合せざるを得ないと言う流れで来ていますが、存続に向けて、何か良い方法はありますか。
- ( 大 森 委 員 ) 浜益区で給食センターの施設を利用して、高齢者向けの配食サービスを実施しても良いと思います。議会でも、そういう質問や答弁があったように思います。確かに、浜益学校給食センターは、使い勝手や衛生面が悪いのは理解していますが、だからと言って浜益に給食センターが無くても良いということにはならないと思います。高齢者向けの配食サービス等を行うなど、全体の事を考えて立派な浜益支所庁舎の施設利用等も考慮して、最初から廃止統合ではなく、地域住民の声も活かして行って欲しいと思います。
- ( 委 員 長 ) そうなると、ここだけの問題では無く、市全体の問題になってきますので、議会で審議して貰うものだと思います。

- (生涯学習部長) 高齢者の配食サービスは、既に浜益の社会福祉協議会等で実施しておりますので、改めて老朽化している浜益学校給食センターの施設を利用してやると言う事には、ならないと思います。
- (委員長) 付帯的な事で、今後の地域活性化等に係わって付け加える事は出来ませんか。
- (生涯学習部長) 今回は、老朽化している浜益学校給食センターの廃止統合と言う事で諮問させていただいておりますので、その中で存続と言うことでは難しいと思います。
- (委員長) 浜益の廃止については、理解出来ますが、残った施設の利用について、将来的に考える事は出来ないでしょうか。
- (生涯学習部長) 今の状況では、難しいと思います。
- (大森委員) 議会では、統合を前提に研究して行きたいと言う答弁だったと思います。
- (厚田センター長) 合併協議会の中では、あくまでも、浜益学校給食センターの廃止、統合と給食費単価の統一を早く行うべきだと言う意見を頂きました。
- (生涯学習部長) 実施、可能性等を含めて、市長部局と研究して参りますとの答弁だったと思います。
- (委員長) 議会で既に討論していると言う事であれば、ここで、具体的な事はしなくても良いのではないのでしょうか。
- (大森委員) このセンターを残すのではなく、新たに代替施設で地域の配食サービスを行うことも可能ではないかと考えています。
- (委員長) 市内には、色々な施設が有る訳ですが、それらをいかに有効に使って行くのかと言う事だと思います。
- (生涯学習部長) 今回、諮問させて頂いておりますのは、浜益学校給食センターを廃止させていただき、その後、厚田学校給食センターに統合させていただきたいと言う事ですので、今後の福祉サービスの考え方を付けるのは、諮問内容に馴染まないと思います。
- (大森委員) 廃止するからには、代わりに何をするのかを考えながらするべきだと思います。
- (生涯学習部長) 廃止する所で、既に、そう言ったサービスを実施しているのであれば、話は、別かも知れませんが、今回の統合で高齢者施設等へのサービスについて意見を付けるのは、諮問と馴染まないと思います。
- (大森委員) そうなると、他の意見は、何も反映されない事になりませんか。
- (委員長) 色々な人に意見を出していただいて、それまとめて、最終的に全体の考え方にしましょうと言うことだと思います。少数意見につきましては、議事録に残ります。
- (大森委員) 統合については、合併協議会の中では議論されてなくて、財政再建計画の中で出されていると言う事ですので、浜益地区の方達は、まったく知らないと言う事です。

- (委員 長) 財政再建計画では、皆さん賛成しているということですね。
- (阿部 委員) 浜益学校給食センターが廃止されて、どれだけの不利益になるのかと考えると給食が無くなる訳ではないので、やむを得ないのかなと思います。ただ、地域住民が、どの様に考えているのかなと思います。
- (委員 長) 一般公募の委員さんで何か意見はありませんか。
- (南部 委員) 私の子供の頃ですが、生振地区は結構、吹雪いて臨時休校になった事が年に1～2回有りました。最近の事は分かりませんが、厚田、浜益方面は、石狩方面より吹雪くような気がします。
- (委員 長) 浜益の穴田先生、親から何か聞いた事ありませんか。
- (穴田 委員) 保護者や地域の方から、この問題で具体的に良いとか悪いとかの話を聞いた事は有りません。ただ、学校の立場で言わせて貰えば、今、栄養教諭と栄養士の仕事を近くにある給食センターに勤務してやって貰っていますが、これからは、遠くなるので、今までと違った工夫をしなければならぬのかなと思っています。
- (委員 長) これから地域説明会がありますので、そこで何らかの課題が出て来るかも知れませんが、今日の答申と言う事では、衛生面や財政面を含めた中で、廃止は止むを得ないと言う流れになると思いますが、如何ですか。
- (大森 委員) 他の方は、廃止が止むを得ないとの事ですが、何かの形で、どこかに給食センターの機能を持ったものを残して欲しいと言う事を答申に加えて欲しいです。
- (委員 長) 全市的に見て、色々な施設が有り、今後、それらの有効活用について、研究して行くと言う事でしたので、ここであえて、付け加えなくても良いのではないのでしょうか。
- (生涯学習部長) 今回の浜益学校給食センターの廃止につきましては、財政再建計画の事務事業見直しの中で出て来ており、現在の市の財政状況から見て、新しく建替える事は、不可能ですので、現在ある施設を有効に利用することとし、浜益学校給食センターを廃止し、厚田学校給食センターに統合する事になりました。ですから、浜益地区の違う施設に給食機能を残すと言う事になりますと莫大な費用が掛かる事になりますので、難しいと思います。
- (大森 委員) それをシュミレーションして見た事は、有るのですか。
- (生涯学習部長) 財政再建計画は、今後5年間、市の財政が、どうなるのかシュミレーションを掛けて見て、お金が足りないと言う事で、事業の見直しを行っております。
- (大森 委員) 経済的な効果だけではなく、長い目で見て考えて欲しいと思います。
- (中村 委員) 先程、給食の配送距離や時間についての答弁や過去に配送出来なかったことは無かったと聞いて安心しましたので、統合は、仕方が無いのかなと思います。ただ、これから行われる住民説明会が、寝耳に水と言うこ

とにならないようにきちんと説明して欲しいと思います。また、地域住民への配食サービスを行うと言う話は、なるほど、そういう考え方もあるか思いましたが、そうすると学校給食の話でなくなってしまうので、この委員会で話すことではなく、市として、今後、考えて行くべきだと思います。私としては、今回の廃止、統合については賛成します。

(大森委員) 地域住民の考え方が大切だと思いますので、答申を出すのは、住民説明会後でも良いのではないのでしょうか。

(委員長) 今回、2点について、諮問されておりますので、答えを出さなければなりません、それは、日程的には、住民説明会後でも良いのですか。

(センター長) 今後、条例改正等の事務手続きがありますので、住民説明会後に答申と言うことは、日程的に不可能だと思います。

(大森委員) 市のスケジュールに合わせて、すぐ答申を出して行くと言うのは、厳しいですね。答申を受けてから住民説明会を行うと言うことになりそうですね。

(生涯学習部長) このような場合、運営委員会等に諮問して答申をいただいて、それに基づいて、市が意思決定をして、それから住民説明会を開いて行くと言う形が、一般的な流れです。

(委員長) それでは、そういう押えで、答申を出したいと思いますが、他の委員の方で、何か意見はありますか。

(佐藤委員) 私は、廃止統合は、止むを得ないと思います。

(委員長) 9月、10月の地元説明会は、もっと、早めには開けませんか。

(生涯学習部長) それぞれの日程を調整して、なるべく早く実施したいと思います。

(委員長) それでは、答申を出したいと思いますが、廃止統合については、止むを得ないと言うことでよろしいですか。

(大森委員) 付帯意見は、なしですか。

(委員長) それは、議事録に残ります。それでは、一点目の浜益学校給食センターの廃止及び統合につきましては、浜益学校給食センターの老朽化や衛生管理上の問題などを勘案し、安全、安心な給食の提供さらには、効率的な学校給食の運営を図るため、同センターを廃止し、厚田学校給食センターに統合することは、妥当であると判断します。

(委員長) 次に、2ページの給食費の統一についてですが、額は、一番低い石狩地区に合わせたいと言うことですが、これで、やって行けるのでしょうか。

(厚田センター長) 6月に厚田学校給食センターで石狩地区の中学校の献立を作ってみましたが、生鮮食品が地元調達でしたので、若干金額が高くなりました。これは、今後、全市的な入札等を行う事で、改善されると思います。

また、献立は、石狩地区では、小学校と中学校は別々ですが、厚田地区では、小学校、中学校、交互に隔月で同じ献立にする事で、同じ金額でやっていけるものと考えております。

(委員長) 何か、質問があれば、どうぞ。

- (佐藤委員) 学校給食費の保護者負担は、食材費だと聞いていますが、今、三地区で金額が違うわけですが、一番低い金額に合わせてもやっけて行けると言う事は、今までが高かったと言う事ですか。
- (厚田センター長) それぞれの地域事情が有り、例えば、地産地消等で野菜の価格が倍近くになる事も有りましたが、今後、共同で入札等を行う事で、差が無くなり安くなる事になります。
- (佐藤委員) 食材費負担の原則は、変わらないですね。
- (厚田センター長) 変わらないです。同じにするため、負担を多くする事も有りません。
- (委員長) 他に、何か聞いておきたい言は有りませんか。
- (大森委員) 食材は、一括購入になるのですか。献立も統一されるのですか。
- (厚田センター長) 食材は、一括購入、一括見積りと言う事になり、献立は、一本化されますが、厚田の小学校、中学校は、交互になります。
- (東川委員) 厚田地区の業者さんは、何社くらい有りますか。
- (厚田センター長) 冷凍食品、肉、学校給食会、パン、麺類は、石狩地区と同じですが、生鮮食品につきましては、農協一社のみです。
- (東川委員) 食材費が高いのは、そういった事も考えられますか。
- (厚田センター長) 生鮮食品以外は、石狩地区と同じですので、違いが出てくるのは、その部分だけです。
- (東川委員) 浜益地区は、業者が二社あると聞いているので、今後、三社になると言う事ですか。
- (厚田センター長) それに、石狩地区の業者がプラスされ横一線と言う事になります。
- (委員長) 入札については、オープンになる訳ですが、たくさん来ると難しい部分があるかも知れませんね。
- (厚田センター長) 今後は、値段の面で努力して行かなければなりません、数も増えますので無駄が無くなりますので、そういった面も整理出来ると考えています。
- (委員長) 他に何か、ご意見等は有りませんか。
- (大森委員) 一点だけ、地産地消と言う観点を絶対に崩さないようにして欲しいと思います。
- (厚田センター長) 今までもそうですが、まず地元産、次に道内産、次に国内産と出来るだけ地元の食材を中心に仕入れて行きます。
- (栄養士) 見積り合せの基準が有りまして、一番始めが石狩市産のもの、次に道内産のもの、次が道外産、国内産と順番が付いております。ただ、数が数ですので、端境期や価格の面で揃わない場合も有りますが、石狩市産のものを中心に見積り合せを行い、出来るだけ地元の食材を使って行く努力はしております。
- (委員長) 今までも考慮して貰っていると言うことで、これからもその線は崩さないでやっけて行ってください。

- (中村委員) 輸入物は、使用していないと言う事ですか。
- (栄養士) 物によって、どうしても手に入らない物は、厳しい検査基準を通った物しか使用しておりません。石狩市は、色々な基準を作ったのも早い方ですし、遺伝子組替食品を使わないなど、出来る限りの中での調査と研究をしながら給食は安全が第一ですので、その辺に力を入れてやっております。安心して食べて頂きたいと思います。
- (委員長) それでは、二点目の給食費の統一につきましては、合併後の格差是正を行うため、石狩地区の料金に統一して改正することは妥当であると判断します。
- (委員長) 次に、6番目の給食費収納状況について、お願いします。
- (センター長) 3ページ、平成18年度学校給食費収納状況について説明。
- (委員長) 収納率は、改善されているということですね。
- (センター長) 現年度分につきましては、管内で一番良い収納率となっております。
- (委員長) 努力が実を結んでいる事だと思いますが、これからも、よろしくお願いします。学校の方も頑張ります。
- (佐藤委員) これまでの支払督促は、年度毎に何件ありましたか。
- (センター長) 平成16年度が4件、平成17年度が6件、平成18年度が2件です。やはり裁判所から書類が行きますと殆どの滞納者は、びっくりして、何らかの連絡をくれますので、それなりの効果は有ると思います。
- (大森委員) 去年は、地区別の収納状況一覧表が出ていたと思いますが、今年は出して頂けないのですか。また、浜益地区は、学校に袋で納めていて百パーセントだと聞いていますがどうですか。
- (センター長) 浜益地区は、以前と同じく袋で納めていただきおり収納率は、百パーセントです。厚田地区は98.6パーセントとなっております。地区別の収納一覧表は、後日、議事録等と一緒に送付いたします。
- (委員長) それでは、そういう形で郵送してください。
- (委員長) 次に、7のその他ですが、何か有りますか。
- (大森委員) 前回の運営委員会で、コンポストの設置については、今後、増設するとの事でしたが、どうなりましたか。また、肥料について、去年は上手く出来なかったそうですが、今年は、どうですか。それと食育の指導、給食指導も含めてですが、教師の休息、休憩時間が変更になった関係で、コンポスト業務が大変だと前回の運営委員会で話されていましたが、学校対応で、どの様になっていますか。
- (委員長) 他の委員さんで何か、ございますか。それでは、コンポストについてお願いします。
- (センター長) コンポストにつきましては、今年は、石狩中学校に設置しております。
- (厚田センター長) 肥料につきましては、実態として、去年の10月頃から始めましたが、全体量としては、三分の一位に減って来ていますが、まだ、臭いが残っ

ている等で、完全な肥料には、至っていない状態です。

( 浜益センター長 ) 浜益学校給食センターにつきましても、同じような状況です。

( 委 員 長 ) コンポストの設置等については、よろしいですね。

それでは、次に、給食残菜の肥料化に係わり先生達の作業が時間的に大変だとの話が去年、浜益中学校から出ていたと思いますが、今でも実施していますね。

( 穴 田 委 員 ) やっています。まだ、今年の方が始まったばかりですですが、様子を見ていますと給食終了後に作業をしますので、正直言って手間は掛かっています。

( 委 員 長 ) 今後、肥料が出来上がりましたら、別な意味で苦勞が報われたと言う事で、先生方の意識が変わって行くのかも知れませんね。

( 穴 田 委 員 ) まだ、そういう状態になっておりませんので、どうなるのかなと思っております。

( 大 森 委 員 ) 食育の指導とかについては、栄養教諭が入れると思いますが、毎日全部の学級に入る訳ではないですよ。

( 委 員 長 ) 私からお話しますが、食育と言うのは、大きいです。その中に食の指導、給食指導等、全部含んで食育ととらえています。例えば、給食指導については、学校のある日は、毎日の事で、手洗い、マナー、配膳、始末、食べ残し等、全部ですので、特に、小学校の低学年は大変ですが、担任中心にやっています。花川南小学校では、すぐ近くにある藤女子大学や黒河栄養教諭に来ていただき、カリキュラムを作ってもらって食に係わる授業を行っております。

( 委 員 長 ) その他、何かございませんか。無ければ約2時間に亘りまして、貴重なご意見をたくさん出して頂きまして、誠にありがとうございました。議事録等は、給食センターから郵送されますので、よろしく願います。本日は、これで閉会いたします。長時間ありがとうございました。

平成19年11月2日 議事録確定

石狩市学校給食センター運営委員会  
委 員 長 島 田 義 治